

10月16日(月)

真の賢さ

聖書朗読 伝道者 3:1~8

あなたがたの中に知恵の欠けた人がいるなら、その人は、だれにでも惜しげなく、とがめることなくお与えになる神に願いなさい。そうすればきっと与えられます。

ヤコブ 1:5

伝道者の書の著者は、「何事にも定まった時期がある」と書いていますが、この言葉は本当にその通りだ、と思いませんか？ 人生とはパッチワークのようなもので、様々な「時と季節」が縫い合わされています。涙を流した同じ日に、笑うことが出来るように心が明るくなった、という経験をした人も少なくないでしょう。伝道者の書の著者も、そのような経験を経て、真の賢さ（知恵）を習得していったのでしょうか。

伝道者の書に示されている知恵によると、「時と季節」は、定められた時に与えられ、そして過ぎ去っていくものでもあります。ですから、私たちにとって好ましい「祝福の時」も、辛い「試練の時」も、定められた「時」に与えられ、また過ぎ去るものでもあるのです。そして、「祝福の時」も「試練の時」どちらの「時」にも、私たちは「その時にしかできない経験」から学ぶことが出来ます。伝道者の書に示されている知恵によると、経験は私たちにとっての最善の教師なのです。ですから、既に多くの経験をしているご年配の方々に耳を傾けないことは、愚かなことだと言えましょう。そして、真理は、与えられている「時」がどのような「時」であれ、変わらないのです。

真の賢者は、「自分が賢いと思いついでいる人こそ、賢さを欠いているものだ」ということを知っています。また、真の賢者は、「知恵とは、単なる情報や知識を豊富に持つていけば得られるものではない」ということを知っており、従って「情報や知識をひけらかす人が「賢者」である訳でもないことを知っています。

本当の賢さ（真の知恵）は、全世界・全宇宙を御手に治めておられるお方（神様）に根差した知恵です。なぜなら、神様は、全ての時代、全ての季節（定められた時期）において不変であり、真理なるお方であるからです。

讃美歌 II 編 191

祈り 神様、私たちが求める時与えて下さることを感謝いたします。私たちが、あなたからの知恵によって導かれ、歩むことが出来ますよう、祈り求めます。

イエス様の御名を通して祈り致します。アーメン。

テキサス州 ミュールシューズ
カーティス・シェルバーン

今日の日

2023年10月16日～10月22日

翻訳 伊藤若菜

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月17日(火)

神様を強みに

聖書朗読 イザヤ 12章

主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。多くの者は見、そして恐れ、主に信頼しよう。
詩篇 40:3

私はこれまで、「自分の強み」を自分で作ろうとして、様々なことを試みました。仕事を頑張ってみたり、スポーツに打ち込んでみたり、勉強を頑張ってみたり、友達作りに励んでみたり、様々なことをしました。ですが、これら試みたことのどれも、「自分の強みを作ることが出来た」と言えるほどの成功には繋がりませんでした。そして私は気付いたのです。神様こそが「私の強み」(私を強くして下さる方)であり、神様を仰ぎ見ずに「自分の強み」を自分で作ろうとしても、上手くいかないということに気付いたのです。

イザヤ12:1には、「あなたは、私を怒られたのに、あなたの怒りは去り、私を慰めてくださいました」とあります。本当に感謝な言葉です。私たちは神様から目を離してしまいがちで、神様の怒りを受けて当然なのですが、それでも神様は私たちを愛し続け、慰めて下さるからです。

このように神様から愛されている、ということを知る時、私たちには大いなる安心感と平安が与えられます。この安心感と平安は、この世(地上的世界)にあるどんなものからも得られることは出来ません。ですから私たちは、この安心感と平安をお与えになることが出来る唯一の方(神様)について、宣べ伝える必要があるのです。イザヤは、次のように書いています、「そのみわざを、国々の民の中に知らせよ」。神様とそのいつくしみは、私たちの真の力であり「自分の強み」なのです。

讚美歌 524

祈り 神様、私たちの心をあなたからの安心感と平安で満たしてください。あなたの大いなる愛と慈しみを覚えることが出来ますよう、お導き下さい。あなたこそが、私たちを強めて下さる方です。私たちをいつも強めて下さり、感謝いたします。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

テキサス州 ラボック
アビー・セットリフ

10月18日(水)

若者さえ疲れる

聖書朗読 イザヤ 40:28~31

若者も疲れ、たゆみ、若い男もつまづき倒れる。 イザヤ 40:30

現在私は70代で、5歳の孫がいます。ですから私は、孫の相手をしていると、疲れ果ててしまうことがあります。孫は、まるで疲れ知らずのウサギのように、いつまでも走り回っているように見えます。しかし、実際には、そんな孫でも疲れることもありますし、疲れるとイライラして不機嫌になる時があります。そう、私だけでなく、若者も、誰でも疲れる時はあるのです。

しかし、神様は、お疲れになることは決してありません! 神様は、永遠に力強いお方なのです。そして神様は、休むことなく神様の御業を為しておられるのです。さらに神様は、お疲れにならないだけでなく、疲れてしまう私たちを癒し、弱くなってしまふ私たちを強め、イライラしたり不平不満をつぶやいてしまふ私たちを支えて下さるのです。そのようにして、神様は私たちを日々「新しく」して下さいます!

そして、さらに素晴らしいことがあります。それは、私たちが神様に頼む時、神様は私たちが人生を力強く羽ばたくことが出来るよう、導いて下さるのです。イザヤ40:31、「主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかけて上ることが出来る。走ってもたゆまず、歩いても疲れぬ」。もしかしたら、あなたも今何らかの疲れをお感じになっているかもしれませんね。でも、このように私たちを支え下さる神様がいらっしゃるのですから、神様に私たちの弱さをゆだねてまいりましょう。

讚美歌 294

祈り 神様、あなたの大いなる御力(みちから)を賛美いたします。あなたによって私たちが支えられているという恵みを、世の人々も分かち合うことが出来ますように。私たちを日々力づけ励まして下さっている神様に、感謝いたします。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

テキサス州 ラボック
ジェス・ピーターソン

10月19日 (木)

神様の希望のメッセージ

聖書朗読 イザヤ 44:24~28

あなたを躰い、あなたを母の胎内にいる時から形造った方、主はこう仰せられる。
「わたしは万物を造った主だ。わたしはひとりで天を張り延ばし、ただ、わたしだけで、地を押し広げた。
イザヤ 44:24

私の友人で体が不自由なボブは、何十年もの間、重い関節炎と闘って来ました。このため、ボブの手は捻れしてまつており、絶え間なく痛みがあり、感染症の脅威に日々さらされています。しかし、ボブは神様への信仰を持ち続けています。彼は毎日祈り続けていると私に言いました。ボブは自分自身と他の人々のために、神様の祝福を祈り求め続けています。どんな困難があっても、ボブは前向きであろうとしています。こうしてボブは、神様がより良い状況をもたらしてくれることを日々祈り求めています。

イザヤ書 44:22~28 の言葉は、バビロンに捕囚されたユダヤ人に対して、預言として語られた言葉です。アブラハムの子孫たちは、故郷を追われ、異国の地で悲しみの日々を送ることになりました。自分たちにとって大切なものがすべて破壊されるのを見ることになりました。しかし主権者である神様は、イザヤを通して、彼らに希望のメッセージをお与えになりました。神様は彼らに、イスラエルの民を故郷に連れ戻して下さるためにペルシヤの王クロスを遣わすことを約束されました。そして、この神様の約束は成就しました。

私たちも、私たちが困難な状況に置かれる際、私の友人ボブのように、そして、捕囚されたユダヤ人のように、神様によって励まされ、神様による救いと回復という希望のメッセージによって慰められることが出来るのです。その神様のメッセージに、あなたも耳を傾けませんか。

讚美歌 280

祈り どの様な時であろうと、あなたが与えて下さる希望があることを思い起こさせて下さい。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

コロラド州 オーロラ
ロバート・リー

10月20日 (金)

光を灯す

聖書朗読 イザヤ 60:1~9

あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。

マタイ 5:14

友人が私の家を訪れていた日のことです。その友人は、車をドライブウェイ (訳注: 自宅前の道路から自宅の車庫までの私道。アメリカの住宅ではよく見られるもの) に駐めました。そして、その夜、車上荒らしの被害に遭ってしまいました (なお、盗まれたものは、皮肉にも讚美歌のCDでした)。私の家のドライブウェイには、街灯の光が届かず、夜は真っ暗になってしまっていました。そこで、私は用心のために、ドライブウェイを照らすライトを取り付け、夜間はドライブウェイを常時照らすようにしました。そして、ライトを取り付けたことは、とても効果があったようです。私がしたことは、ライトを取り付けただけで、それ以外に何か特別な防犯設備を設置したり、門を設置したりした訳ではないのですが、ライトを取り付けることで、十分防犯効果を得られたのです。

このように、光は私たちを守ってくれます。確かに光は、自動車の前照灯のように衝突事故を防いだり、懐中電灯のように足元を照らすためにも大変有益です。しかし、それだけでなく、「私たちを悪 (あく) から守る」という役割もあると思います。使徒ヨハネが、「そのさばきというのは、こうである。光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行いが悪かったからである」(ヨハネ3:19) と書いているように、悪は光を憎み、光のある所には来ません。ですから、光の民である私たちは、イエス様の光を輝かせることによって、私たちの周りの人々を悪から守ることが出来る、とも言えましょう。私の友人が私の家を訪ねてくれたように、私たちの人生には、私たちとかかわり、交わりを持ってくれる人たちがいます。彼らのためにも、私たちはイエス様の光を輝かせ、悪から遠ざかり、神様の恵みに生きる者になりたいものです。

讚美歌 326

祈り 私たちの人生の中で、人々のためにあなたの光をよりはっきりと輝かせることができますよう、私たちに助け導いてください。

イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

テキサス州 アビリーン
ナンシー・ベイカー

10月21日 (土)

神様の臨在に勇気を見出す

聖書朗読 エレミヤ 1:1~19

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

マタイ 28:20

私の子供たちが小さかった頃、彼らは怖いもの知らずで、私が3メートル以内に居る限り、どんなことでもしていました。しかし、私が近くに居ない時は、家の中の暗い廊下を歩くことさえ怖がっていました！「親が近くに居る」ということは、子どもたちに特別な安心感や勇気を与えるようです。

これとやや似たことを、エレミヤも体験していたようです。それは、神様がエレミヤを諸国民への預言者として召された時でした。当時エレミヤはまだ少年で、(預言者として奉仕することに) 当然ながら恐れを感じていました。それに対し、神様は、ご自身の臨在を約束してエレミヤを慰められました。「彼らの顔を恐れるな。わたしがあなたとともにいて、あなたを救い出すからだ。一主の御告げ」(1:8)。そして神は、一連の幻によってエレミヤを安心させました。ついに神がエレミヤをお遣わしになる際には、神は再度「ともにいる」(19節)と言われています。エレミヤが勇気をもって神の召命を受け入れることができたのは、父なる神様が彼と共におられたからです。

こうしてエレミヤは、投獄や死の危険を冒して王の前に毅然と立ち、神様の裁きを宣言したのです。同様に私たちも、神様が私たちと共におられることを知る時にこそ、人生の嵐(試練)のただ中でも立ち続けることが出来るのです。イエス・キリストは、次のように約束して下さっています。すなわち、「父なる神様が慰め主なる御霊を私たちにお送り下さり、聖霊が私たちの内に居て下さる」と。こうして、聖霊なる神様が私たちの内に居て下さる(神が共に居て下さる)のですから、私たちは勇気を失うことなく、神に仕えながら歩んで行くことが出来るのです。

讃美歌 448

祈り あなたが私たちの慰めの力として、共に居て下さり、あなたのしもべとなる勇気を与えて下さることを思い出させて下さり、ありがとうございます。イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

テキサス州 ウェーコ
カール・フィン

10月22日(日)

雪のように白く

聖書朗読 エレミヤ 33:1~9

「さあ、来たれ。論じ合おう」と主は仰せられる。「たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。」
イザヤ 1:18

第二次世界大戦で従軍した退役軍人から、こんな話を聞いたことがあります。ある日の夕刻、彼らは戦場の塹壕の中で、支給された食事を食べていました。ですが、すぐ近くから銃声も絶えず聞こえ、とても生きた心地はしない環境でした。彼らは恐怖にも包まれていましたが、疲労から、間もなくして眠りに就きました。翌朝、彼らが目を覚ますと、外は、一面銀世界になっていました。夜間に雪が降り続け、全てが雪で覆われたのです。その場が戦場であることを示唆するようなものや、戦争の爪痕を残すようなものは、すべて美しい雪で覆われていました。全てがきれいに洗い流されたかのような光景でした。その時、兵士たちは「罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる」という意味をはっきりと分かったのです。私たちは、罪のために真っ赤に染まっけていても、イエス様によって、真っ白に(きよく)して頂けるのです。

この経験を経て、この退役軍人の人生は変えられていきました。罪の中を歩む人生から、神様の恵みに生きる人生へと変えられたのです。同じように、私たちの人生も、神様によって変えて頂くことが出来ます。私たちがイエス様のもとに来るならば、イエス様は私たちを新しく造り変えて下さいます。あなたの罪がたとえ緋のように赤くても、イエス様の贖いにより、私たちは雪のように白くして頂けるのです。

讃美歌 521

祈り 神様、イエス様を通して救いを私たちに与えて下さったことに感謝します。イエス様を通して私たちの罪がきよめられ、私たちが雪のように白くして下さることを感謝いたします。そのイエス様を誉めたたえます。イエス様の御名を通してお祈り致します。アーメン。

ジョアン・クレイトン